

自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目のⅡやⅢ等)から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

○記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点](アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名 (ユニット名)	F M C グループホーム 5 F
所在地 (県・市町村名)	大阪府寝屋川市本町16-5
記入者名 (管理者)	フロアー長 : 中尾 大作
記入日	平成 21年 9月 25日

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<input type="checkbox"/> 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	職員全員で考えた「FMCの心得・理念」をグループホーム立ち上げの折に作成しています。	
2	<input type="checkbox"/> 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	朝礼時に理念の唱和を行い、理念の共有と実践に向けて日々取り組んでいます。	
3	<input type="checkbox"/> 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	事業所の玄関口など目立つ場所に施設の理念を掲示し、家族様や地域の人々に理解して頂けるよう取り組んでいます。	
2. 地域との支えあい			
4	<input type="checkbox"/> 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	散歩等の外出の機会において、近隣の住民とのコミュニケーション支援を図っています。	
5	<input type="checkbox"/> 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会での催しに招待して頂いたり、普段自治会で行われている練習を見学させて頂いたり、地元の人々との交流が行われています。	○ 利用者様が地域での清掃活動及びボランティア活動にも今後参加できるように取り組んでいきたいと思っています。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	当施設が地域密着型認知症高齢者の介護施設であることから、地域での高齢者の認知症に対する相談も受けています。	○	今後は、認知症に対する相談だけでなく、福祉全般における総合相談へと取り組んでいきたいと思っています。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	職員全員で評価の意義と問題点などを認識し、評価を活かした支援活動を行っています。		
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	運営推進会議を、地元地域の自治会長・老人会会長・行政職員・地域包括支援センター職員・入居者様のご家族・入居者様・ボランティア・施設代表・ケアマネジャー・介護職員等で話し合い、サービス向上に活用しています。		
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	行政(高齢介護室・福祉公社など)の担当官との関係を蜜にし、関係所管の指導のもと、出来る限りの向上策に取り組んでいます。		
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	成年後見人制度の利用を希望されるご家族に、制度利用の支援を行っています。		
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	外部の研修等、高齢者虐待について学ぶ機会を設けています。 又、FMCグループホームでは利用者様の心身の状態に対して常に注意を払っています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	ご家族さまには施設代表自ら十分な説明と、文章(重要事項説明書&入居契約書など)により、理解・納得を図っています。	
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入居者様からの苦情は特にありませんでしたが、ご意見・要望に対しては真摯に受け止め、積極的に実現に取り組んでいます。	
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会時には、ご家族からの問い合わせがある前にコミュニケーションを持ち、報告し、信頼関係を築いています。受診後の報告は出来るだけ速やかに当日の夜に電話で報告しています。又、何か特異事項があれば随時電話で報告をさせて頂いています。	
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	各フロア毎に自由にポストイングができる意見箱を設置しています。が、今までクレームや介護スタッフに対する意見や苦情等がありませんでしたので、それらを反映することはありませんでした。	
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月第2金曜日に定例会議を設けて、意見や提案があれば報告をしています。又、何か問題点など意見があれば、その都度、随時に会議を設けています。	
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	入居者様の要望を第一に対応していますが、ご家族からの要望があれば、その折々において柔軟な対応を行っています。	
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	離職希望者へはできる限り説得し、本人の気持ちを尊重した対応をしています。また、フロア間の勤務移動については、入居者様にダメージが無いように最小人数で移動を行うよう配慮しています。	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	会社の体制として、研修や講習の案内通知が来たら、掲示板に貼り出し、希望すれば誰でもが会社の経費で参加できるようにしています。職員は希望すれば、様々な研修を受ける事が可能です。また、役職者にはスキルアップの研修に積極的に参加の誘導を行っています。	
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	寝屋川市のケアマネ会などへ、出来る限り参加を促しています。	
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	進んで話を聞いたりするなど、気配りには気を使っています。また、希望休を月5日設け、要望通りに休めるようにして、それぞれがリフレッシュ出来ていると思います。会食や飲み会なども催しています。	
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	各自の資質の問題もありますが、【新しい仕事を与えたり】など、出来る限りそのように努めています。	
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	本人との信頼関係構築の為だけではなく、より適切なケアの為にも常に聴く機会をつくり、受け止める努力をしています。	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	介護の方針を定めるためにも情報を聞くこと。しっかりと聞かせて頂く姿勢が信頼を生むと思うので、様々なことを受け止める努力をしています。ご本人の生い立ちから現在に至るまでの生活圏のお話などを聞くことの大切さを認識しています。	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	何を求めておられるか、を察知する事が介護の第一歩だと認識しています。それで知り得たことへの支援を実行しています。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	施設利用(契約)前には、見学や体験利用等の機会を設け、当施設に徐々に馴染めるよう、家族様との相談を行っています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	入居者様の介護を通じて、できる限り入居者様自身の立場に立った介護を行っています。入居者様の感情表現に対して共感的な介護が実践されています。		
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ホーム入所後も、本人様の為にも良いと思われる事に対しては、家族様と相談し、協力が得られるよう援助に努めている。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	ホーム入所後も、家族様から時節に応じた衣服のお届けなど、ご本人とご家族のよりよい関係が築いていけるようにしています。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ホーム入所前によく通っていた店等での買物支援等に努めています。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者様同士が、無理なく楽しくホームの中で過ごして頂けるように利用者様相互のコミュニケーションを援助しています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	サービスの利用が終了しても相談など必要とされる方には応じています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	重度の入居者様も多く、個々の思いや要望を個人から入手困難な方もおられますが、個別ケアは実践できています。ケア中に入居者様の思いや要望を知る機会もあります。		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前のご家族との面談時、或いは、入居前に担当しておられた居宅介護支援事業所の担当者からなど、多くの方々からの情報収集をしています。その方々の生活歴を尊重し、それらの把握に努めています。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	沢山の情報収集から見出した入居者様の個々の状況に応じた介護支援をするように徹底しています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	過去の生活歴や個人の趣味などをはじめ、家族様からの情報を集約して、また、入居者様の心身状態を加味した上で、入居者様や家族様を交えて介護計画を作成しています。		
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	月に一度のモニタリングを行いながら、こまめに家族様に報告・相談しつつ介護計画の見直しをしています。又、退院時やADLの低下に伴い、サービス計画の内容変更を行ったりしています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	その都度、介護記録を記入し、全スタッフが目を通して情報の共有化に努め、介護計画の見直しに役立っています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	入居者様が身体機能低下になり、「グループホーム】対象外となっても、ターミナルケア(終末介護)の受け入れをしています。FMCグループホームはグループホームの域を超えた医療設備を整えています。また、1階には整骨院、2階にはスポーツジムを併設しています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	月に3回ボランティアさん(歌体操・音楽療法・傾聴など)が来所され、歌を歌うことや、楽器を演奏することなどを実践しています。また、公共施設(図書館)の利用もさせて頂いています。更に、年に一度消防機関との協力にて避難訓練なども実施しています。		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	地域のケアマネ会には積極的に参加していますが、我がホームの入居者様が他の施設などでサービスを利用したことはありません。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括支援センターとの協働はありませんが、地域包括支援センターが主催する会議などには積極的に参加をしています。今後は、地域包括支援センターとの協働を積極的にしていきたいと思っています。		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	二週間に一度の訪問医療・週に一度の訪問看護・訪問歯科などが実施され、いつでも相談できる体制が確保されています。24時間医療連携体制が確保されています。健康状態や病状報告なども医師を交えてご家族に説明をする機会を設けています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携して</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	FMCグループホームの心得・理念に「尊敬の意を持って」があります。介護スタッフはこの心得を念頭に介護支援をしています。個人情報の保護については、入社時に「守秘義務に関する宣誓書」に自署・捺印して情報の重要性を認識しています。	
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	職員が決めつけの介護支援は決して行っていません。入居者様の要望や状況にあわせた介護支援をさせて頂いております。	
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	FMCグループホームで仕事ができるのは入居者様が居られるからである。このことを介護スタッフは肝に銘じて仕事をしていますので、職員は入居者様に会わせて「その人らしい」介護支援をさせて頂いております。	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	男性の入居者様には、既に行きつけの理容室がありますし、女性の入居者様は数カ所の美容室に行っておられます。外出時には洋服を選んで頂いたりもしています。女性は毛染めやパーマをあてられたりもしておられます。	
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	節句やお彼岸などの行事時には、その行事にあったお料理を作ったり、お重箱に盛りつけたり食事を楽しんで頂いています。食事後の後かたづけなどは職員と一緒にされています。	
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	特に飲食が低下しておられる方には、プリンやアイスクリームなど口当たりの良いモノを食べて頂いたりしています。ジュースや果物などは嗜好にあわせた品を提供しています。喫煙者はおられませんが、お祝い事時にはワインやビールをお出しする場合があります。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	日々の排泄表を記載することで一人お一人の排泄パターンを把握して、トイレ誘導を行うなど気持ちよく排尿・排便が出来るような介護支援をしています。が、時には粗相をされる方もおられますが、速やかに対応処置をさせて頂いています。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	日曜日以外はほぼ毎日の午後に行っています。が、無理強いの入浴は出来るだけしないようにしています。が、何日も入浴されない方には入って頂くように説得しています。反面、毎日入浴をされる方もおられます。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	皆さまがゆっくりと安心して眠れるように室温や電灯などの環境調整をしっかりとしています。夜間の徘徊をされる虞のある方には、日中に出来るだけ活動をして頂くなど昼夜の逆転が無いような配慮もしています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	四季の行事・お誕生日会・春と秋のピクニックなどを行っています。また、それぞれの方々の趣味にあった「お習字教室」「音楽会」「カラオケ会」「お花やプランター菜園」を行ったりの支援もしています。		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族からお金を預かり、入居者様個々の金銭出納帳を作っています。買い物や理美容室に行かれる時に、そこからお金を自分をもって行き、自身でお支払いをして頂く場合もあります。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	基本的には、夏と冬以外は1日に1回は散歩などで日光に当たる為の外出をするように努めています。銀行や役所へなど、車で外出をする場合にはドライブ好きの入居者様とご一緒に行っています。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	特に決まった場所としては「菖蒲園」や「生駒山」などがありますが、車で1時間程度の場所に遠出をすることも年に数回はあります。そんな時には、ご家族も同行して頂いたり、現地に来て頂いたりもしています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	そんな要望には必ず応えるようにしています。お手紙を友人に書いておられる方もおられます。電話の取り次ぎもしています。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	ご家族やご友人などの面会は朝の9時から夜8時までの間は自由に来て頂いています。面会者の希望に添った場所で面会をして頂いています。居室での方も、リビングでの方も居られます。		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケ	FMCグループホームでは一切の拘束はありません。		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室とフロアーには鍵は掛けていませんが、1階の玄関には鍵を掛けさせて頂いております。当ホームの前の道路はバス通りですし交通量が多いので危険ですし、外部からの侵入者も危険ですので不本意ではありますが玄関の鍵は掛けています。		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	介護スタッフの最大の仕事は「入居者様の命を守ること。」ですので、昼夜を通して安全確保を徹底しています。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	そのような物品をみたことはありません。入所時に持参された持ち物の一切を確認させて頂き、ノートに記載させて頂いておりますので危険物を保管するようなことは今まで全くありませんでした。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	入居者様の日々の現況にあわせた介護支援をおこなっておりますので事前予防のできる体制をしています。万が一「ひやりハット」などの報告があれば、それを分析して同じことが起きないように徹底して事故防止に取り組んでいます。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	介護スタッフ全員が緊急時の対応が出来るようにスタッフ会議時や研修会などでスキルアップをしています。更に緊急時のマニュアルを各フロアーに掲示しています。		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害時マニュアルを作成し、誰でもが直ぐに見える場所に掲示しています。避難訓練も定期的実施し、年に1回は消防署から署員に來所して頂き訓練をしています。が、地域との連携訓練は今だ実施出来ていません。		
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	認知症高齢者に起こるリスクを入居契約時にご家族にも説明をして当初から理解をして頂くようにしていますが、入居者様にはそれぞれの状況を加味した抑圧感のない暮らしをして頂くよう努めています。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	常日頃から、血圧・体温・血中酸素濃度などの計測をし、病状に対応する変化を事前に発見する用意をしています。異常を発見したら直ちに看護師・主治医に報告をして、その対応をして頂いています。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の管理は看護師が行っています。が、日常の服薬は介護スタッフが行っています。朝・昼・夜・眠前など、の区分けをその方ごとに小分けをした薬箱で保管し、一切の間違いが無いよう厳重に服薬をして頂いています。状況に変化のあった場合は速やかに看護師に報告しています。		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	日常的に便秘症の方には、バナナやヨーグルトを食して頂いたり、繊維質のあるものを食べて頂いたりもしています。それと同時に体操などもして頂きますが、それでも改善されない場合は看護師や主治医に下剤や浣腸などをして貰います。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後と就寝前に口腔ケア(歯磨きとうがい)をして頂いていますが、更に毎週金曜日に歯科医と歯科衛生士に口腔ケアをして貰っています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日の食事は提携している食材やの管理栄養士が作った高齢者用の献立で材料一式が届きます。その食材を専属の調理員が調理をしていますので、栄養バランスは問題はありません。水分量や食事の摂取量は日常的に管理しています。		
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	病気の感染はグループホームにとって致命的な打撃になるであろう。ことを認識していますので、感染症予防は徹底して行っています。今春から玄関に張り紙をして、来客に手洗い・うがい・マスク着用をお願いしています。また、職員には研修や勉強会などに積極的に参加誘導をしています		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理器具は毎日消毒していますし、生野菜などの洗浄も徹底して行っています。ノロウイルス対策として貝類は一切購入していませんし「食材業者には新鮮で安全なモノ」しか購入しない旨を申し渡しています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	入居者様でお花作りや菜園が趣味の方がおられ、その方にプランターでお花を栽培して頂いています。玄関にはベンチとジュースの自動販売機を置き、誰でもが休憩をし易い雰囲気を作っています。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	館内のどこにでも音楽が流れるように有線放送を配置し、トイレや玄関の照明はセンサーで点灯・消灯をするようにしたりしています。また各フロアにはお花や観葉植物を置いたり、壁には四季折々の額を飾ったりして入居者様が居心地良く過ごせる環境にしています。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居室にTVやラジオを置いておられる方もいますが、リビングにはカラオケセットやプラズマの大型TVがあり、ソファーに座り、ゆったり過ごして頂けるような工夫をしています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に今まで使っておられた馴染みのタンスや置物・時計や壁掛けなどを持って来て頂くようお願いをしていますので、殆どの方が入居と同時に居室が自分のお部屋になっています。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	各居室毎に別々にコントロールの出来るエアコンや換気扇があり、室温調整はその方にあった適温を選択できるようになっています。また各居室には森林浴をするようなオゾン発生装置が設置されていて15分毎にオゾンを噴出しています。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	入居者様(高齢者)が出来るだけ自立した生活するために、安全のために様々な場所に手すりを設置しています。特に各フロアの中央トイレの便座は、便座が上下に作動するので足腰に負担を掛けないでトイレが出来るように工夫されています。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	入居者様の居室のドアにはお名前が表示されています。また、トイレなどにも目印をつけ入居者様がその場所がわかる工夫をしています。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	ベランダの利用は介護スタッフは洗濯物乾し場ですが、プランターでトマトやキュウリや金柑などを栽培している入居者様や、毎日3千歩歩くためのロードとして使っておられる入居者様もおられます。が、最大の使用用途は災害時の避難場所になることです。		

V. サービスの成果に関する項目

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいの
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいの
		<input type="radio"/>	④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある
		<input type="radio"/>	②数日に1回程度ある
		<input type="radio"/>	③たまにある
		<input type="radio"/>	④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と
		<input type="radio"/>	②家族の2/3くらいと
		<input type="radio"/>	③家族の1/3くらいと
		<input type="radio"/>	④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	①ほぼ毎日のように
		<input type="radio"/>	②数日に1回程度
		<input type="radio"/>	③たまに
		<input type="radio"/>	④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	①大いに増えている
		<input type="radio"/>	②少しずつ増えている
		<input type="radio"/>	③あまり増えていない
		<input type="radio"/>	④全くいない
98	職員は、活き活きと働いている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての職員が
		<input type="radio"/>	②職員の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③職員の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族等が
		<input type="radio"/>	②家族等の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③家族等の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

これからも

- ・その人らしい生活が送れるように入居者様中心の介護支援を提供します。
- ・近隣の地域住民との交流に力を入れる取り組みを推進します。
- ・入居者様の健康管理の充足を図る為の介護支援を推進します。